

平成24年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	自主防災体制整備事業						担当部	消防本部							
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	消防総務課							
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降			担当係	消防係						
	総合計画 分野別計画	主目的	1 市民生活		4 防災		2 防災体制を充実する									
		副目的														
	予算区分	款	9		項	1		目	5		大	3		中	1	
	根拠法令・個別計画	小牧市地域防災計画														
	実施・運営方法 ※費用合計に占める 経費の内訳(割合)	直接実施・ 運営	65 %			委託	35 %			助成	0 %					
	目的 (対象をどの様な 状態にするのか)	地区住民へ大地震時の火災等に対して、街頭消火器による初期消火活動促進する。														
	内容 (手段)	<p>アパート、マンションなどを除いて約10世帯に1本の割合で街頭消火器を設置。自主防災会にその点検を委託している。各自主防災会では毎月1回点検を実施し、その結果を3月に市に報告。市では街頭消火器1本につき1,050円/年の委託料を各自主防災会に支払っている。また、市民からの連絡に対しては設置場所へ出向いて、破損・紛失した消火器や収納ボックス等を点検して、交換や修理補修を行う。破損、盗難等への交換対応や使用期限の8年経過した消火器の更新(購入・廃棄)は継続する。</p> <p>※直接経費の内訳 7,902千円 街頭消火器保守管理委託料 約4,530千円 消耗品費 約3,107千円(内消火器更新498本 約2,353千円)</p>														
受益者負担	受益者負担なし															

			単位	H21決算額	H22決算額	H23決算額	H24予算額	
	コスト	費用	直接経費		千円	10,172	7,931	7,902
正職員			従事者数	人	0.95	0.95	0.95	0.95
			人件費	千円	5,053	5,053	5,053	5,053
その他職員			従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
費用合計			千円	15,225	12,984	12,955	14,073	
対前年比		%		85.2	99.7	108.6		
財源	一般財源		千円	15,225	12,984	12,955	14,073	
	国・県支出金		千円	0	0	0	0	
	その他財源		千円	0	0	0	0	

業	活動指標名	単位		H21	H22	H23	H24
	街頭消火器の設置	本	目標		10	—	5
実績				10	—	5	
街頭消火器の更新	本	目標		705	569	498	84
		実績		705	569	498	
績	成果指標名	単位		H21	H22	H23	H24
			街頭消火器の設置(累計)	本	目標	4,315	4,315
				実績	4,315	4,315	4,320
				目標			
				実績			

事業の自己評価	平成23年度の実施結果	事業の達成状況	計画どおり街頭消火器の更新を実施した。累計本数も目標値を達成した。街頭消火器の点検を自主防災会が行うことにより、防災意識の向上につながる。市内各自主防災会に毎月1回の街頭消火器点検を委託することにより、初期消火活動時における保管場所の確認に役立つことができた。
		事業実施における課題等	自主防災会の力を強化していく方法や市民が防災の自助・共助の能力を向上させるための方法として街頭消火器の点検で良いか課題が残る。
		事業を縮小・廃止したときの影響	事業を廃止することで、点検が怠り、防災意識の低下につながるおそれがある。
今後の事業の方向性	方向性の判定	現状維持	
	判定理由	上記のとおり、外部評価対象事業の今後の取組方針により評価結果が出ており、今後は、自主防災体制の更なる整備強化に向けて、効果的な他の方法にする等、事業の見直しをしていく。	
	改善案等	新たに自主防災活動の活性化に役立つ制度(仮称、小牧市自主防災体制整備事業補助金等交付要綱)の創設に向けて、全自主防災会長にアンケートを実施する。	

二次評価	方向性の判定	判定理由
	現状維持	外部評価を受けた今後の取組方針のとおり消火器点検委託料については廃止とし、新たに自主防災活動の活性化に役立つ制度を創設する必要がある。